

主科目 副科目	外科学総合 Surgery	DM_1424	区分	選択必修	授業形態	演習 (講義・実習含む)
------------	------------------	---------	----	------	------	-----------------

担当	教授	准教授	講師	助教	客員教授・その他	
板橋	◎川村 雅文 佐野 圭二 橋口 陽二郎 神野 浩光 深川 剛生 坂尾 幸則 三澤 健之	松田 圭二 和田 慶太 野澤 慶次郎 (病院准教授)	細田 利史 清川 貴志 齋藤 雄一 山内 良兼	端山 軍 堀川 昌宏 石岡 茂樹 島田 竜 小澤 毅士 松本 暁子	田中 文彦 池田 達彦	(医療技術学部・教授) (非常勤講師)
-						
-						

	外科学(総合)Ⅰ (1年次)				外科学(総合)Ⅱ (2年次)				外科学(総合)Ⅲ (3年次)			
	単位	4単位	配当年次	1年・通年	単位	4単位	配当年次	2年・通年	単位	4単位	配当年次	3年・通年
概要	外科学全般について学習し、3年次以降に専門分野を絞り込むことを希望する医師を対象に本コースは設置されている。上部消化管外科、下部消化管外科、肝胆膵外科、呼吸器外科、乳腺腫瘍外科、小児外科を3ヶ月ずつローテートして、外科学全般に亘って解剖学、腫瘍学、創傷治癒学、生理学、放射線診断学、感染症学等を学習する。また消化器内視鏡、呼吸器内視鏡について診断と治療の両面を習得する。				「外科学総合Ⅰ」に引き続き各外科をローテートするとともに、副科目として心臓血管外科を選択し、外科専門医の取得も目指す。多数の臨床経験を通して、外科治療学の理論的背景を理解し、医学部の臨床実習生や初期研修医の指導を通して、自らの知識を確かなものにする。各領域の基本的な手術については術者として、周術期の管理を含めて行うことができる能力を習得する。				「外科学総合Ⅰ」、「外科学総合Ⅱ」の教育を通して外科学の中から専門分野を選択する。専門分野の手術の経験を積むとともに、それを支える解剖学、生理学、薬理学等の基礎医学的知識を修得し、サブスペシャリティーの専門医の取得を目指す。また以上の臨床経験に根ざした研究テーマを模索し、4年次に向けて具体的な研究の方略を策定する。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・術前診断と処置 1. 上部・下部内視鏡検査の習得 2. 上部・下部造影検査の習得 3. 超音波検査(甲状腺・乳腺・腹部)の習得 4. 気管支鏡検査の習得 5. 乳腺疾患の診断の習得(マンモグラフィなど) 6. 胸・腹部放射線断層画像(CT、MRI他)の意味の理解とその読影 7. 術前検査の総合的評価 8. エビデンスに基づく治療方針の立案 9. 術前栄養管理 10. 術前カンファレンスでのプレゼンテーション 11. インフォームドコンセントの取得 12. 一般外科基本手術実施と外科専 				<ul style="list-style-type: none"> ・一般外科基本手術実施と外科専門医取得 1. 救急外来での縫合 2. 外科専門医に必要な一般外科手術の実施(120例以上) 3. 外科専門医に必要な高次専門外科手術の受け持ち管理(350例以上) ・一般外科術後管理 1. 術後の合併症対策と家族、関係者および医療者への明確な説明と報告 2. 手術標本における病理学的・分子生物学的検索の理解と補助的役割 3. 術後栄養管理の理解と実行 4. 悪性腫瘍に対する集学的治療(化学療法、放射線療法)の理解と実践 ・癌に対する非切除療法 1. 切除不能悪性腫瘍に対する非切除療法(化学療法、放射線療法など)の理解と実践 2. 癌終末期医療(緩和ケア)の理解と説明、実行 				<ul style="list-style-type: none"> ・各専門分野での特殊技能の習得 ・各専門分野での基礎研究あるいは臨床研究 1. 臨床データベースの意義の理解、構築、解析 2. 最新の医療情報の収集、理解 3. 臨床的課題を解決するための臨床研究の組み立て 4. 病理学、分子生物学、免疫学等の基礎医学分野と連携しての基礎研究 			
事前事後学修	指定した教材の関連部分を事前に学習し、専門用語の意味等も理解しておくこと。1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。				指定した教材の関連部分を事前に学習し、専門用語の意味等も理解しておくこと。1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。				指定した教材の関連部分を事前に学習し、専門用語の意味等も理解しておくこと。1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。			
評価方法	受講態度40% 成果物60%				受講態度40% 成果物60%				受講態度40% 成果物60%			

	外科学(総合)Ⅰ (1年次)	外科学(総合)Ⅱ (2年次)	外科学(総合)Ⅲ (3年次)
板橋	月曜日 13 : 00 ~ 14 : 00 超音波検査講義	月曜日 13 : 00 ~ 14 : 00 超音波検査講義	月曜日 13 : 00 ~ 14 : 00 超音波検査講義
	月曜日 9 : 00 ~ 17 : 00 手術	月曜日 9 : 00 ~ 17 : 00 手術	月曜日 9 : 00 ~ 17 : 00 手術
	月曜日 : ~ : 臨床症例検討会	月曜日 : ~ : 臨床症例検討会	月曜日 : ~ : 臨床症例検討会
	曜日 : ~ : 臨床症例検討会	曜日 : ~ : 臨床症例検討会	曜日 : ~ : 臨床症例検討会
-	曜日 : ~ : 臨床症例検討会	曜日 : ~ : 臨床症例検討会	曜日 : ~ : 臨床症例検討会
	曜日 : ~ : 臨床症例検討会	曜日 : ~ : 臨床症例検討会	曜日 : ~ : 臨床症例検討会
	曜日 : ~ : 臨床症例検討会	曜日 : ~ : 臨床症例検討会	曜日 : ~ : 臨床症例検討会

教科書・参考書

標準外科学 第14版(畠山勝義 / 医学書院) 等

その他履修上の注意事項

外科専門医を取得後に専攻できるサブスペシャリティは、消化器外科、呼吸器外科、小児外科のいずれかを選択することになる。試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

関連科目	副科目	上部消化管外科学(6か月)、下部消化管外科学(6か月)、乳腺腫瘍学(3か月)、呼吸器外科学(3か月)、血管外科学(3か月)、小児外科学(3か月)などから履修する。
	共通科目	消化器疾患特論(必修)、腫瘍治療学特論、呼吸器病学特論(選択必修)

関連する専門医資格

- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| ① 外科専門医(日本専門医機構) | ⑧ 気管支鏡専門医(日本呼吸器内視鏡学会) |
| ② 消化器外科専門医(日本消化器外科学会) | ⑨ 日本消化器内視鏡学会専門医(日本消化器内視鏡学会) |
| ③ 呼吸器外科専門医(日本呼吸器外科学会+胸部外科学会) | ⑩ がん治療認定医(がん治療認定医機構) |
| ④ 小児外科専門医(日本小児外科学会) | ⑪ 消化器病専門医(日本消化器病学会) |
| ⑤ 乳腺認定医・専門医(日本乳癌学会) | ⑫ 肝臓専門医(日本肝臓学会) |
| ⑥ 日本肝胆膵外科学会高度技能医(日本肝胆膵外科学会) | ⑬ その他 |
| ⑦ 日本内視鏡外科学会技術認定医(日本内視鏡外科学会) | |

キャリアパス(モデルコース)

